

ふれあい情報

速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541
 <e-mail>tais yokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

2013年4月5日(金) 第161号

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

連合・退職者連合トップ会談

退職者連合と連合は、4月3日午前10時から連合本部で首脳会談を行いました。トップ会談には、退職者連合の阿部保吉会長と羽山治美事務局長、連合からは古賀申明会長と南雲弘行事務局長が出席しました。今回の会談のテーマは退職者連合の組織拡大についてです。会談では、はじめに阿部会長と古賀会長がそれぞれあいさつ。阿部会長は、連合とともに組織拡大に向けて現退対話活動に取り組んでいることについて報告。阿部会長の強い連携の求めに、古賀会長も「一緒にがんばろう」と応じました。

現退対話を進め、組織拡大へまい進しよう！



△会談ではトップによる忌憚ないやり取りがおこなわれた(写真左から阿部会長・羽山事務局長。同右から古賀会長・南雲事務局長。4月3日、連合本部8階特別応接室にて)

連合第11回組織委員会

「現退対話」連携を報告

連合は4月3日午後3時から連合会館2階で第11回組織委員会(委員長・逢見直人 UAゼンセン会長)を開催しました(写真)。会議には退職者

連合から羽山事務局長と林事務局長が出席。林次長は、連合が第10回組織委員会で現退対話の取り組みを決定したことに触れ「退職者連合も3月12日開催の第4回幹事会で現退対話に向けて連合、構成組織、地方連合会としっかり連携していくこ



とを決定した」と報告。また当日の午前には連合と退職者連合のトップ会談が行われたことも報告しました。



香退連の取り組み報告

現退で同行オルグ

香川県退職者連合(香退連)「組織拡大・強化推進委員会」の国方勲委員長と連合香川の進藤龍男事務局長から組織拡大での同行オルグ実施の報告がきましたので、ご紹介します。

1. 基本的考え方

①(連合香川の構成組織に)退職者会の有無の確認②現・退一致の連携具合③退職者会の活動状況などを調査する。

2. ねらい

①香退連単独よりも構成組織との接点を持ちやすい②退職者組織の拡大は「連合運動と一体」との認識の醸成ができる③現退で共通の認識が持てる④退職者の組織化で連合香川と香退連が連携して取り組める。

3. オルグ対象組織

連合香川傘下の構成組織。

(連合香川の組織拡大オルグに便乗)

4. スタート 3月14日から

5. オルグ参加者

①連合香川(6名) 榎原副会長、進藤事務局長、本田・西尾副事務局長、福岡・藤井組織拡大アドバイザー②香退連(5名) 国方・牧野副会長、西丸事務局長、野中会計監査、香西幹事)

6. オルグ先の対応者

委員長・書記長・組織担当者など

7. 訪問先の反応

快く対応いただいております。組織現状や課題について忌憚のない話し合いができています。



△組織拡大で打ち合わせする同行オルグ団(写真左は香川ユニオンの本田委員長、同右から香退連の国方副会長、連合香川の藤井アドバイザー、香退連の西丸事務局長。4月2日、香川ユニオン事務所)



林退会の取り組み報告

ねばり強く要請

大きな前進に

林野関連退職者の会(林退会)では組織拡大に向けて本年1月に林野労組に要請。その後、林退会と林野

労組で話し合いを継続。その結果、林野労組は3月5日開催の中執で林退会からの要請内容を確認の上、3月6日に要請内容に基づく取り組みを組織内に指示しました。(要請内容は以下の通り)



①林野労組は定年退職者を組織化し、加入届を林退会に提出する。また、毎年の定年退職者にかかわる情報(名前、住所、連絡先、再任用など)や林退会加入に関する報告・連携する場の設置。

②林退会が設置した組織対策委員会への林野労組の中央・地方本部・支部・分会担当者のオブザーバー参加。

③林野労組の分会段階での連携強化を図るため、分会所在地での分会と林退会支部との意思疎通の場の設置。



オルグ強化へ器材づくり

退職者組織を持つ構成組織や中央退職者組織では、退職予定者オルグ用のパンフレットや冊子を作成して積極的なキャンペーンを取り組んでいます。こうした現退連携による取り組みを進めることが重要です。



△左は自治退、中央は日教組、右はNTT労組の退職予定者向け各パンフレット。